

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	カンジヤマ・マイム
公演団体名	カンジヤマ・マイム

内容
まずは一般的なアイスブレイキングアクティビティー、つまり「ほぐし」の練習から始まります。簡単な動きの練習から始めて、子ども達のグループの経験、エネルギー、あるいは開放度をこの一連のゲームによって判断し、臨機応変に対応してゆきます。段階的に身体を自分の創造力と想像力で楽しめるエチュードを楽しみながら、いくつか実践してもらい、お互いに見せ合います。例えば小学生の自らの大好きな場所（自分の隠れ家やら、自分の部屋）を、最初は言葉と動きで他人を案内してゆくことにより、五感を使って想像をする体験や、あるいは、自分の感動体験を身体のプロロー（静止状態の人間彫刻）にし、それをスナップ写真のように見せるという方法を取りながら、徐々に動きに対する恐怖感を取り除いて参ります。勿論、最初から動きそのものに入れる場合は、子ども達の即興技能に挑戦しながら、言葉の動的印象などをどしどし動きに変えてゆく劇遊びを行い、彼らの動きの飛躍を奨励します。常に参加者とのコミュニケーションを重んじながら柔軟に効果的に身体を動かす事の喜びを学んで頂くように指導してまいります。

タイムスケジュール（標準）
開始予定時刻 1時間～30分前 会場入り ワークショップ開始 ～10-15分 ウォームアップ、アイスブレイキング ～15分～ 参加者の年齢その他要素に合わせた活動 1コマ 45-50分（学校の時間割に合わせる）×2, 3 （※ワークショップ終了後、本公演会場確認）

派遣者数
3～4名

学校における事前指導
特に必要はありませんが、マイムに関する一般的な情報等、要請があれば、カンジヤマ・マイムの著書などからの抜粋をご紹介します。

令和2年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	カンジヤマ・マイム
公演団体名	カンジヤマ・マイム

演目

おしゃべりなパントマイム

派遣者数

6名

タイムスケジュール（標準）

仕込み 3時間、
公演時間 1時間 20分（公演中に原則として休憩はありません）
ばらし、撤収時間 約1時間

実施校への協力依頼人員

仕込み開始時、体育館の電源のカギを開けて頂くこと。その他基本的には必要ありません。ただ、会場の体育館などが2階以上の場合は、搬入のお手伝いを2～3人ほどお願い致します。

また、車を止められる場所から体育館が非常に離れている場合、お手伝いをお願いするかもしれません。いずれにせよ、事前に（ワークショップ前後）会場を見学して、打ち合わせをさせていただきます。

演目解説

古典的なマイム技術を駆使し、人間の身体表現の無限の可能性を面白く、そして易しく紹介する事からこの舞台は始まります。普段自分の身体をあまり意識しない子ども達に、人間の身体の潜在的な表現力に驚嘆してもらいながら、まずは自分の身体の表現に感心をもって頂きます。そしてその後、斬新なアイデアと視点で様々な人間観察を通じて、人間関係や、物事に対する人の対応の面白さ、人間の優しさ、出会い、別れなどを舞台上に表現します。作品はそれぞれのテーマにそって10~15分程度のをオムニバスで綴り、その間を話芸と身体マイム芸の紹介と子ども達との参加型コミュニケーションでつなぎます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

公演中、何度か児童生徒達全員が座ったままでもできる動きで、自らの身体も使ってみるという参加コーナーがあります。また、最初のデモンストレーションの一つとして、マイム特有の人形振り、あるいは銅像になるというテクニックを披露し、後にそれを児童自身の将来の夢に関わらせて、自分たちで将来なりたいものの姿になりきってもらいます。これによって自分の夢を意識しながら、マイムのテクニックを堪能してもらいます。この銅像は比較的すぐに形になるものなので、初心者でも楽しみながらできるという利点があります。見ている児童も勿論たのしめます。

児童生徒とのふれあい

マイムの作品の間にも要所要所に、児童が客席で座りながらできる不思議な動きなどを紹介して、児童が体験しながら、舞台への集中の準備をできるようにします。この際にも客席とのコミュニケーションを重視しながら、動き、そして話をし、次の作品の枕話的なものを披露しながら舞台作品に入ってゆきます。